

北海道開発局事業審議委員会（令和5年度第1回） 審議案件一覧<<ダム事業>>

再	事業名	再評価理由	上段：前回再評価 下段：今回再評価	事業の概要	事業期間		全体事業費 (億円)	進捗率 ※1	事業の効果等	費用便益比 全体 B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針 (案)	対応方針(案)決定の理由	備考
					事業化 年度	完了予定 年度										
再~1	雨竜川ダム再生事業	社会経済情勢の変化等社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業（本体工事要求）	R 4（新規） (2022)	・既設の発電ダム（雨竜第1ダム・雨竜第2ダム）の利水容量を洪水調節容量に振り替えるとともに、雨竜第2ダムの嵩上げと合わせて約2,500万m3の洪水調節容量を確保し、治水機能を付加することを目的とする。	H30	R15	約449	約4%	・洪水調節：雨竜川の基準地点雨竜橋において、目標流量2,400m3/sのうち100m3/sを調節し、河道への配分流量を2,300m3/sとする。	1.7	361	611	雨竜川ダム再生事業については、「継続」とした対応方針（原案）案について、異議はありません。 本事業は、度重なる雨竜川流域の洪水被害に対し、重要な治水対策と認識しており、治水効果の早期発現に向け、着実に事業を推進していただきたい。 なお、事業の推進に当たっては、適切な事業管理を図り適時情報提供を行うとともに、関係機関との協議、環境保全の措置を実施されたい。	継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	重点審議 (e)
			R 5 (2023)	同上	H30	R15	約449	約6%	同上	1.6	390	635				

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費に対する進捗率を示す

：重点審議案件

- ◆重点審議案件の選定要件
- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
  - (b) 推定便益が顕著に減少する事業
  - (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
  - (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
  - (e) その他の要因